

令和2年度 伏見南浜小学校
第2回学校評価
アンケート結果と考察



1. 生活面			そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
①	児童	じぶんからすすんで、あいさつをしている。	41.7%	40.8%	13.7%	3.8%
	保護者	我が家では、進んで挨拶するように声かけしている。	57.0%	41.2%	1.5%	0.3%
	教職員	子どもが自分から進んであいさつできていると思う。	13.9%	58.3%	27.8%	0.0%
②	児童	じぶんのきもちをあいてにわかるように、ことばなどでつたえることができている。	44.9%	40.6%	12.1%	2.5%
	保護者	我が家では、子どもに、自分の気持ちを言葉などで表現するように促している。	49.6%	48.1%	2.4%	0.0%
	教職員	子どもが自分の気持ちや考えを言葉などで表現できていると思う。	3.1%	90.6%	6.3%	0.0%
③	児童	おうちでは、がんばったことをほめてもらえる。	64.1%	23.9%	8.3%	3.8%
	保護者	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	41.5%	53.4%	5.1%	0.0%
	教職員	子どものよさを認め、ほめている。	29.4%	70.6%	0.0%	0.0%
④	児童	おうちでは、ともだちのことをよくはなしている。	62.3%	24.2%	11.3%	2.3%
	保護者	我が家では、子どもの交友関係を把握している。	26.9%	60.3%	12.5%	0.3%
	教職員	子どもの交友関係の把握に努めている。	31.3%	62.5%	6.3%	0.0%
⑤	児童	おうちでは、ていねいなことばでおはなしをしている。	20.9%	44.2%	23.1%	11.8%
	保護者	我が家では、丁寧な言葉で子どもと会話している。	11.1%	58.1%	28.1%	2.7%
	教職員	丁寧な言葉で子どもや保護者と話している。	34.3%	65.7%	0.0%	0.0%

①「あいさつ」についての期待度に、児童・保護者・教職員の間に少し差があったように思います。約98%の保護者の方が「そう思う・大体そう思う」と、進んで挨拶ができるよう声掛けをしてくださっています。それに対して約17%の子どもたちは「あまりそう思わない・思わない」と回答しています。また、7月時のアンケートでは、約98%の教職員が自分から進んで挨拶ができるよう働きかけていますが、約30%児童が、まだまだ進んで挨拶ができていないのではないかと回答しています。「あいさつ」は、本校の掲げている「伏見南浜小学校のみんなで大切にしたい4つのあ」の一つです。今後も引き続き、学校そして地域で大切にしていきたい内容ではないでしょうか。

②「自分の気持ちや考えを言葉などで表現する」ことについて、教職員の「そう思う」が約3%と低い数値ですが、これは、さらなる子どもたちの成長への期待が表れているのではないかと思います。



①「基礎的・基本的な学力」について、7月のアンケートでは約71%の教職員が「基礎的・基本的な学力が身につくように取り組んでいる」ことに「そう思う」と回答していましたが、今回12月のアンケートでは「そう思う」が約14%、「あまりそう思わない」が約7%という回答となりました。これは、子どもたち一人一人の基礎的・基本的な学力の向上がまだ十分身についてとはいえず、今後の課題として挙げられる内容です。授業改善や補充学習の充実を図り、さらなる子どもたちの学力向上へと取り組んでいきたいと思ひます。

②「家庭学習」についての内容です。①の質問と同じような結果が得られました。今後も継続して、家庭学習に取り組む姿勢が身につくよう働きかけ、自学自習できる子どもの育成に努めていきたいと思ひます。

④「学校教育目標」についてです。学校教育目標「笑顔かがやく南浜の子〜つながりひろげ、豊かに学び豊かに表現する姿をめざして〜」は、児童・保護者・教職員の全てが達成を目指しているべきものです。今後も常に意識できるように、働きかけていきたいと思ひます。

⑤「子どもたちの過ごしやすい学校づくり」については、「あまりそう思わない・そう思わない」という回答が、児童・保護者で数値が少しですが、下がっています。今後も一歩ずつ、学校教育活動全体を通して、全ての子どもたちにとって安心できる学校づくりを、教職員一丸となって目指していきます。

⑥「子どもたちの力がつく学校づくり」に関する質問です。子どもたちの学力向上を常に意識した学習指導を心がけていきたいと思ひます。



7月に行った第1回学校評価アンケートの質問を一部変更しています。

変更点

1. 生活面の教職員の質問項目①, ②

①「子どもが自分から進んであいさつできるように、働きかけている。」⇒「子どもが自分から進んであいさつできていると思う。」

②「子どもが自分の気持ちや考えを言葉などで表現できるように、働きかけている。」⇒「子どもが自分の気持ちや考えを言葉などで表現できていると思う。」

2. 学習面の教職員の質問項目①, ②, ④, ⑤, ⑥

①「読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身につくように取り組んでいる。」⇒「読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身についていると思う。」

②「家庭学習の習慣が定着するように、働きかけている。」⇒「家庭学習の習慣が定着していると思う。」

④「本校の学校教育目標が、子どもや保護者に伝わるように働きかけている。」⇒「本校の学校教育目標が、子どもや保護者に伝わっていると思う。」

⑤「子どもたちの過ごしやすい学校づくり」を進めている。」⇒「子どもたちが過ごしやすい学校になっていると思う。」

⑥「子どもたちの力がつく学校づくり」を進めている。」⇒「子どもたちの力がつく学校になっていると思う。」

これら教職員の質問内容を変更したのは、1学期から本校の教職員が、子どもたちへ働き掛けてきたことが、どれくらい子どもたちへの変容へとつながっているかを見取るためです。この変更した内容について、分析を行いました。今後の教育活動へと生かしていきたいと思ひます。

自由記述欄

たくさんのご意見をいただきました。ほんの一部ですが紹介させていただきます。

◆児童「せんせいにきいてほしいことがあればかましよう。」◆

- ・しんどいときに、あまり言えない。はずかしくて、大事なことが言えない。
- ・相手の気持ちをどうやって思えばいいですか？
- ・プログラミングの授業を早くしたいです。
- ・学校が楽しいです。
- ・コロナが終わって、マスクを外したいです。みんなで遠足に行きたいです。
- ・私が大人になったら、またこの学校にきて、先生になって教えたいです。

◆保護者「子育てについて大切にしていることを教えてください」◆

- ・自己肯定力が高い子どもになるよう、否定的な言葉は使わないなどを気を付けています。
- ・毎日自分が一番頑張ったと思うことを話してくれるように心がけている。そしてたくさんほめるようにしています。
- ・約束を守ること、お友達の良いところをほめること、頑張ることが大切なことと伝えている。
- ・両親各々が自己実現のために、努力する姿を子どもたちに見せること。
- ・たくさん本を読んで、たくさん外で遊んで、体も心も元気に育てほしい。
- ・正直で、相手の気持ちを考えて接する。自分本意ではなく思いやりのある子に育てほしいと心にとめて接しています。
- ・子どもと一緒に学び、成長する。
- ・人としていけないこと、ダメなことを理解してもらうため、親自身が決められたことを守り、手本となるようにしています。
- ・自分でできることは自分でする。他人のせいにはしない。
- ・得意・不得意に関係なく、何でも挑戦する機会があれば、一度やってみようと思をかけるようにしています。結果が伴わなくても、挑戦したことが本人の自信につながると思うからです。

◆教職員「学級経営・自分の仕事で大切にされていることを教えてください。」◆

- ・子ども一人一人をしっかり見て、小さな変化にも気が付けるように努めている。
- ・子どもたちが自ら良さを発揮できるよう努めていきたいです。
- ・校内で気付いた子どもたちの様子を、関係する教職員とコミュニケーションをとりながら共通理解すること。たくさん目と心で子どもたちを見守り、支援していきたいと思ひます。

